

弥富市小中学校未来構想



中学校再編委員会だより

第10号 発行日 令和7年1月7日

弥富市中学校再編委員会・弥富市教育委員会

学校を創ろう！プロジェクト 座談会



令和6年12月26日(木)於：社会教育センター

「自分たちの手で、自分たちの学校を創ろう！」を合言葉に、6月8日(土)には、弥富市青少年健全育成大会において、各中学校の取組を発表しました。そして、今回は「座談会」と銘打って、3中学校の生徒会役員のみなさんが、自由に考えや交流する場を設定しました。

座談会 テーマ：「校則改正について」

～各中学校より、見直しを行った校則の内容やどのように進めたか、今後について発表した後～

生徒A：「中学生らしく、さっぱりした髪型」というけど、どうなのが「中学生らしい」かはよくわからない。自分は中学生らしい髪型だと思っていてもそうではないみたいで・・・

司会： みんなはどういうことが「中学生らしい」と思う？

生徒B：中学生らしいっていうのは、時代によって変わると思う。今までは・・・っていうけど、「今の中学生らしい」だと思う。

生徒C：髪の毛を染めたり、パーマをかけたりするのは中学生らしいとはならないと思う。これは常識というか、ずっと変わらないんじゃないかな。

生徒A：部活や運動に支障がないなら、中学生らしいなんじゃないかな。やっぱり「中学生らしい」っていうのが、あいまいだなあって思う。(続く・・・)



座談会のテーマ「校則について」

「生徒会の取組(学校祭・独自の取組)」

「弥富市の今とこれから(防災教育・平和教育)」

について、ざっくばらんに意見を交換しました。

事務局より、十四山中学校閉校記念イベント、弥中・十四山中交流活動、弥富北中の「自問清掃(動画)」を紹介しました。

最後に、11月に実施した広島研修での合奏(被爆ピアノ/伴奏)を聴き合いました。



<生徒たちの感想より>

- ・自分たちではやったことのないものやり方を知り、自分たちの生徒会活動に生かされると思った。こうやって、話し合う方が分かりやすいし、伝えやすいし、楽しいからまた他校との交流をやりたいと思った。学校はもっとできることがたくさんあることがわかった。
- ・自分で考えて行動する自主性の磨き方について、他の学校のやり方を参考にしたい。

